

# こすもす

第24号(平成28年3月)

滝川市ボランティア連絡協議会



## 1年を振り返って

滝川市ボランティア連絡協議会

会長 岸 部 三和子

27年度の行事も、残すところあと少しとなりてあります。ボランティア連絡協議会の皆様方には何かとお忙しい中、ご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

年3回のボランティアスクールですが、7月には、「健康生活支援講習」を開催し、心や体の影響、気を付けたい病気、起き上がりなどの介助を実践形式で学びました。

11月には「笑いヨガ」を行いました。人は笑うことで、免疫力の増加、脳の活性化、血行促進、自律神経のバランスなどに良いことがあります。3回目のスクールは、3月に開催された市民ボランティアの集いの中で、もう一度「笑いヨガ」を取り入れてみました。

11月の視察研修では、新十津川町の「かる園」と「ハーブガーデン」を訪問してきました。ハーブガーデンでは専用のトレーニングマシーンを導入し、眠っている筋肉を呼び起こすパワーリハビリを行つてあります。リラクゼーションでは、ウォーターベッド・メドマーを配備してありました。今後ともご健康に気を付けて、ボランティア活動をよろしくお願ひ致します。

## 「全ての市民が参加するボランティア活動を!」

社会福祉法人滝川市社会福祉協議会

会長 椿 坂 幸 夫

滝川市ボランティア連絡協議会が「地域住民の福祉の充実と向上」を旗印に活動される皆様に、深甚なる敬意と感謝を表すると共に、滝川市社会福祉協議会の活動にもご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

福祉を取り巻く背景には、少子高齢化・核家族化・孤立死・育児不安・虐待・経済格差・自然災害等々。更に在宅療養・在宅介護・介護予防が求められ、市民を取り巻く地域福祉の今日的課題は、山積みの一途にあるといえます。

しかし、幸いにもボランティア団体の皆様の温かいご支援の手により、市民に安全安心感を導き、困窮を救い、事件事故を未然に防ぐ等々、安定して市民生活が成り立つていて、いつでも過言ではありません。「住みよいまちづくり」には、ボランティア活動は必須条件であり、全市民が日常生活の一部として、ボランティア活動に関わることを大いに期待したいのです。



滝川市ボランティア連絡協議会広報誌「こすもす」は共同募金の助成を受けて発行しています

